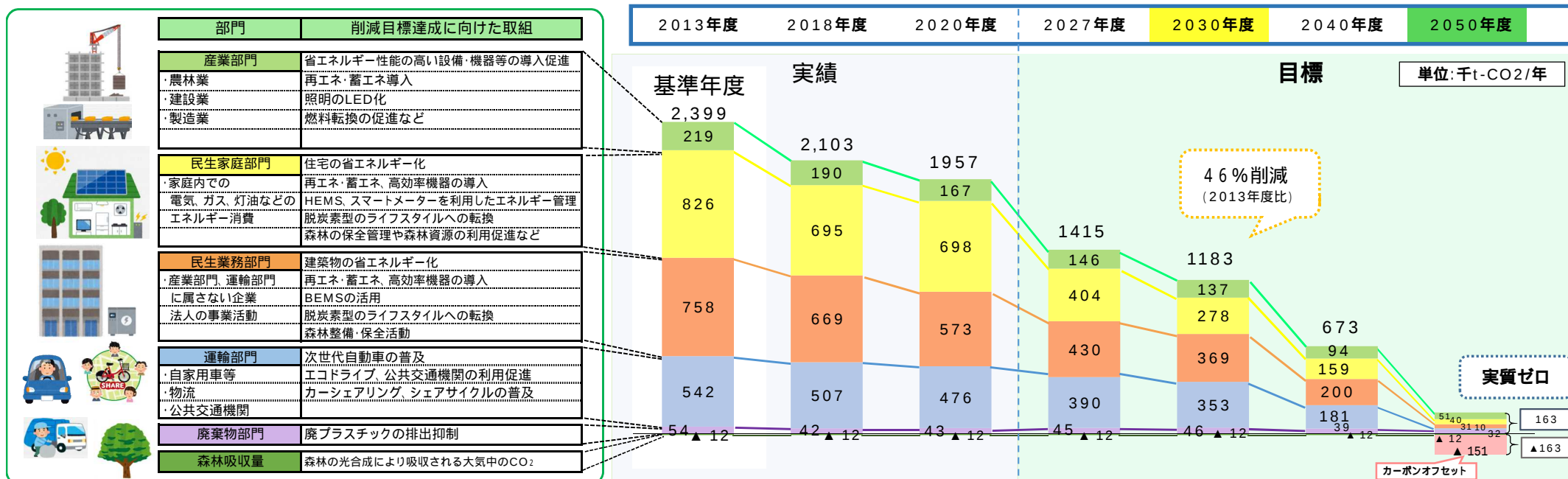


八王子市 2050年 ゼロカーボンシティに向けたロードマップ



2030年までにみんなで実践・達成すること

産業部門

建設工事にGX建設機械
(電動の建設機械)の導入や
低炭素型材料の
使用を進める。



省エネ型機器等の導入率を50%に。

製造業の設備に省エネ型機器等を50%導入すると、
2020年度の産業部門全体の実績値167千t-CO₂/
年から、152千t-CO₂/年になる。

民生家庭部門



3軒に1軒の住宅に
太陽光発電設備の設置。

2020年度の民生家庭部門全体の実績値は698千
t-CO₂/年で、上記の目標を達成すると566千t-
CO₂/年になる。

ZEHの普及率を5%に。

2020年度の民生家庭部門全体の実績値は698
千t-CO₂/年で、5%を達成すると676千t-CO₂/
年になる。

民生業務部門

省エネ診断を利用して省エネ対策を
実践。(利用者事業者数を270件に)
省エネ診断を利用すると、ビルなどの具体的
な省エネ対策方法がわかります。
受診後のエネルギーの削減率は平均
電気:約16%減
ガス:約24%減
水道:約16%減



事業所の空調の約70%以上を
ヒートポンプ式に。
2020年度の民生業務部門全体の実績値は573
千t-CO₂/年で、70%以上を達成すると483千t-
CO₂/年になる。

運輸部門



自家用車の
次世代自動車普及率を60%に。

2020年度の運輸部門全体の実績値は476
千t-CO₂/年で、60%を達成すると394千t-
CO₂/年になる。

置き配や宅配ボックスの活用で
再配達を減らす。

2020年度の運輸部門全体の実績値は476千
t-CO₂/年で、90%が活用すると473千t-CO
2/年になる。

廃棄物部門



使い捨てプラスチック製品を使
用をしない。
(マイバックの利用や別の素材
でできた製品を使うなど)

食べ残しや直接廃棄(未利用
食品)などを減らして食品ロス
を削減。